

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
辻本 傑	男	83	農業	H6.4～H29.3 H20.10～H29.3 H21.6～ H23.7～H26.7 H29.7～R5.7	直川地区農業近代化推進委員 直川地区農業近代化推進委員会 会長 わかやま農業協同組合総代 農業委員 農業委員	水稲 露地野菜	26	該当	一部には農業法人による営農の広がりが見られるものの、この国の農業は、今なお家族経営に支えられています。しかし、少子高齢化が進むにつれて、担い手不足となり、次第に耕作放棄地が目立つようになっています。今からでも遅くはないと考えます。耕作放棄地の発生を抑えるには、中間管理機構や地元JAの営農部門、近隣の農業法人、規模拡大を目指している地元農家などと情報の交換と連携を密にすれば解決の方策を見つかると考えています。そこで私は、農業委員の活動を通じて実態把握に努め、関係者との意思疎通を密にしなが、耕作放棄地の新たな発生を食い止め、同時に既存の耕作放棄地減少に貢献したい考えから、応募したものです。
小栗 誠二	男	65	農業	S57.7～H31.3 R2.9～R6.9	わかやま農業協同組合 和歌山市農地利用最適化推進委員	水稲 露地野菜	76	非該当	家業である農業に約34年間従事しています。また、令和2年からの農地利用最適化推進委員としての活動経験から、地域の農業事情について理解を深めました。農業は、食料自給や環境問題において、果たすべき役割に期待されています。そういった中、地域農業では担い手不足、高齢化、農地の荒廃化等の課題があり、微力ですが農業委員として地域農業の課題改善・振興に貢献致したく応募しました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
境 俊人	男	71	-	S51.3.15	近畿大学卒業	露地野菜	3	非該当	専業農家の次女と結婚し、その居住地に引っ越しして以来、米作りの仕事を30代から手伝ってまいりました。養父亡き後は、米作りの土地は売却し、残った土地でトマト、じゃがいも、さつまいも、キャベツ等の野菜を育ててまいりました。近隣に貸農園主がいるので、種々の情報交換を行ない農業に対する理解を深めてまいりました。宅地化が増えて農地消失の昨今、農地を守り次世代に向けて魅力ある農業を伝えていきたいと思い農業委員に応募致しました。
			S51.3.16	シャープ株式会社入社					
			H24.12.15	シャープ株式会社退社					
			H26.3.15	和歌山商工会議所退社(非常勤)					
			H28.4.1	大阪市住宅供給公社退社(主査)					